

第2次宇都宮市特別支援教育基本計画（案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成26年12月26日（金）～平成27年1月16日（金）まで
- (2) 意見の応募者数 2名（男性 1人、女性 1人）
意見数 6件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	0	0	1	1	0	2

2 意見の処理状況

区分	処 理 区 分	数
A	意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	0
B	意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みと考えるもの	5
C	各事業を実施する上で参考とするもの	1
D	計画案に盛り込まないもの	0
E	その他、要望・意見等	0
	計	6

①地域学校園の仕組みを活かした取組について（3件）

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	「本市独自の地域学校園を活かした」という表現があるが、今後の具体的な取組を期待する。	B	地域学校園の仕組みの活用にあたりましては、学校の状況を把握し、学校の負担が増さないように配慮した上で、「小中一貫の日」の活用も含め、効果的・効率的に実施できるよう検討を行いながら進めてまいります。
2	教員の専門性の向上や人材育成のための研修等を「本市独自の地域学校園の仕組み」を活かして実施することは効果的であるが、各地域のリーダーとなる教職員を養成・配置するのであれば、地域学校園を単位とし、次年度より各地域学校園で設定される月1回程度の「小中一貫の日」を活用するのが教員の負担も少なく効果的であると思う。		
3	特別支援学級での小中乗り入れ授業の実施は、小中学校間の理解や社会的自立を促すための指導を小中学校が連携して行うための効果的な方策であると思うので、もっと推奨していくべきではないか。	B	乗り入れ授業による小中交流の取組の推進につきましては、校長会議でも周知したところです。今後、各学校や地域学校園での取組状況を把握しながら、効果的な実践を紹介するなどして積極的に実施されるよう努めてまいります。

②人的支援体制・物的環境の整備について（2件）

1	<p>人が多くいることは少なからず指導・支援の充実につながる。予算の関係もあると思うが、人員の配置の検討が必要ではないか。</p>	B	<p>現在、国においては、インクルーシブ教育システム構築に係るモデル事業に取り組んでいるところであり、具体的な人的支援体制等の整備水準については示しておりません。本市といたしましては、国の動向等を注視しつつ、特別な支援が必要な児童生徒への適切な支援がなされるよう、今後検討してまいります。</p>
2	<p>I C Tの活用について、タブレット等の情報機器の配備を検討してほしい。</p>	C	<p>I C Tの活用につきましては、本市において現在実施している大型タブレットを活用したモデル事業や、国のモデル事業の研究結果も踏まえながら、特別支援教育における効果的なI C T活用の在り方について検討してまいります。</p>

③人材育成について（1件）

1	<p>特別支援学級等担当者の年齢層が高いことや、経験年数が少ないことが、今後の児童への指導・支援に影響があるのではと危惧される。更なる研修と経験や知識の豊富な人が他の人に伝えていくシステムの構築が必要である。</p>	B	<p>教員の世代交代が急速に進む中、人材育成は重要な課題であるとしております。そのために、本市独自の地域学校園の仕組みを活かした研修の実施や、専門家による学校訪問相談の充実等に努めてまいります。</p>
---	--	---	---